

科目区分	研究科目		
授業科目名	消化器外科学		
担当者名	有田 淳一	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
<p>【授業の目的】研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。</p> <p>【授業の到達目標】作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。</p> <p>【授業の概要】消化器がんに対する手術療法の安全性担保と, 現行手術の限界を打破するための新しいストラテジーを開発する研究を中心に幅広く行っている。肝切除術における安全担保のために, 周術期管理と術後合併症や入院期間との関連を検討する臨床研究や, 膵切除における手術手技の予後延長効果を検討する臨床研究, あるいは切除した消化器癌の検体を材料として分子生物学的手法を用いた基礎的研究を行う。実習授業としてはこれらの研究に研究員の一人として直接参加する事で, 研究手法・技能・問題解決手段・論理的思考展開法を培い, 論文作成を行う。</p>			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
有田 淳一, jarita@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	胸部外科学		
担当者名	今井 一博	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室, 実験室
授業形態	講義, 実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験やデータ解析および学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶ。</p> <p>授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得。さらに研究継続を探究することを目標とする。</p> <p>授業の概要: 肺癌の病態やがん免疫を理解するため実験動物を中心として, 分子レベルでの現象を取り扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オムニバス方式での講義を通じて最新の知見を学び, 研究を開始するにあたっての作業仮説の立て方や実証方法を指導する。 2. 実際の実験手技を習得させるとともに, 得られた実験データの解析などについて指導する。同時にこれらを学術論文にまとめる方法について指導する。 			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
今井 一博, karo@doc.med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			